

～初心者のための～
伊那市桜管理マニュアル

日本一の桜の里づくり
～「桜を愛し、育み、親しむ桜の里」～



- 1 伊那市における課題と対応策 … 1
- 2 桜の植栽要領 … 4
- 3 年間月別管理作業の概要 … 6
- 4 桜の病害虫 … 9

はじめに

桜は、日本を代表する花であり、伊那市の「花」です。桜を愛する心は人々に様々な良い感性を与え、桜を愛することを通じて人々の心が結ばれます。

豊かな自然の中で育まれた桜をこれからも増やしながらか、適切に管理していくために、このマニュアルを作成しました。

桜は生き物です。桜の生命力の強さを手助けする気持ちを持ちながら、桜の保護育成に取り組みましょう。

1 伊那市における課題と対応策

(1) テングス病



写真1 テングス病

枝の一部が箒状に小枝が多く固まって生える。やがて花は付かなくなり、5～6年で枯れる。自身の枝や他の木の枝に孢子（菌）を飛散させ、木全体がテングス病と化し枯死する。

対応する薬剤は無いので、正常部の一部を含め切除し焼却処分する。5～6年位この作業を続けることで、テングス病は消滅する。なお、切り口には殺菌剤を塗布する。

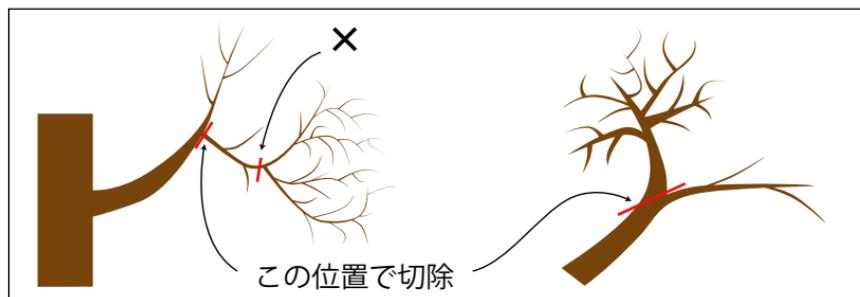


図1 テングス病の切除位置

(2) 切り枝の不適切な処理

不適切な切除は腐朽を招き、やがて本体が枯死してしまう。切り口には殺菌剤を塗布する。

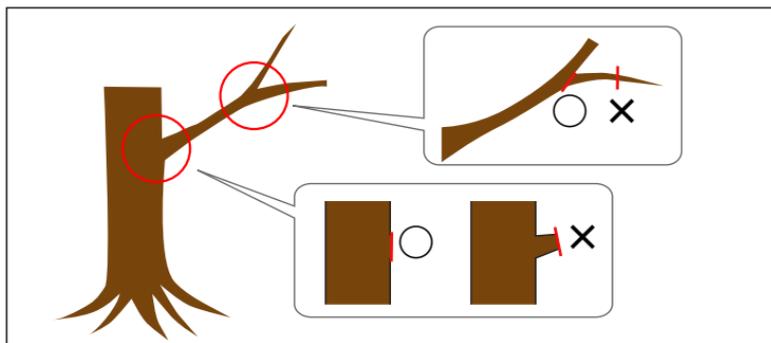


図2 切り枝処理

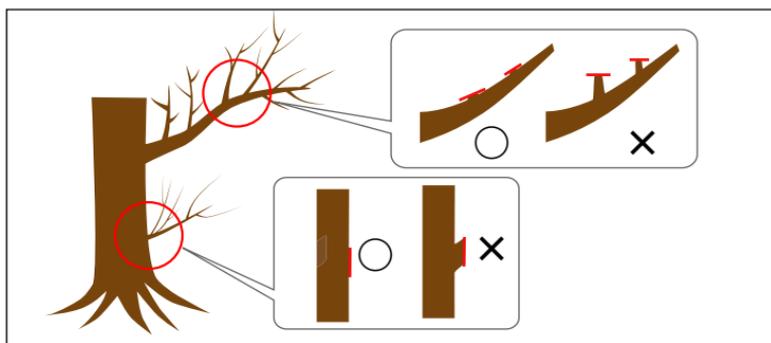


図3 徒長枝処理

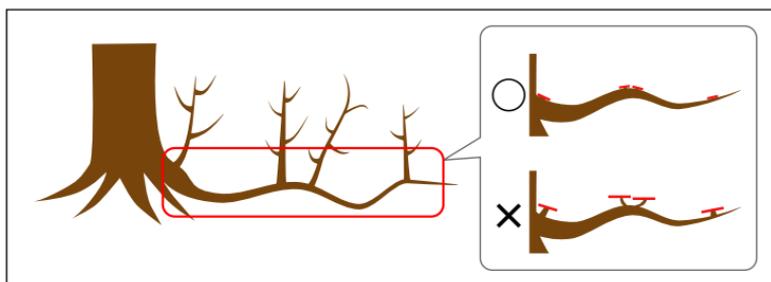


図4 ヒコバエ処理

(3) 手入れされていない桜の処理

未手入れの結果、枝が込過ぎ、樹の形が変形し枯死する。枯れ枝が多く、付近に危険を及ぼし、また花が咲いたときの景観も悪くしている。切り口には 殺菌剤を塗布する。

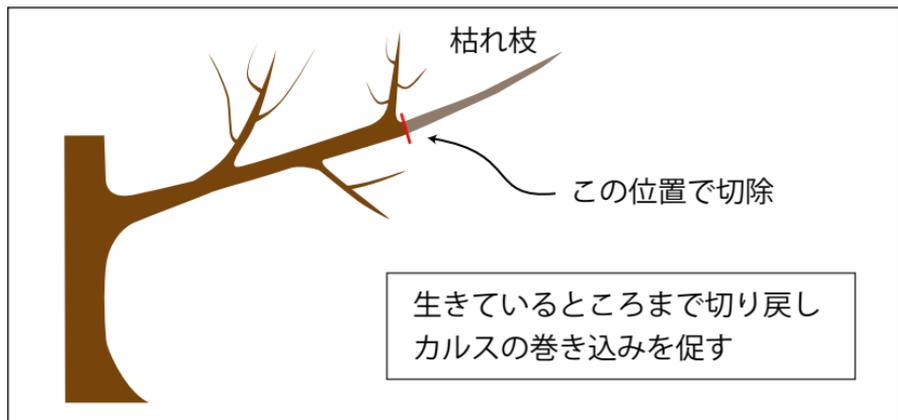
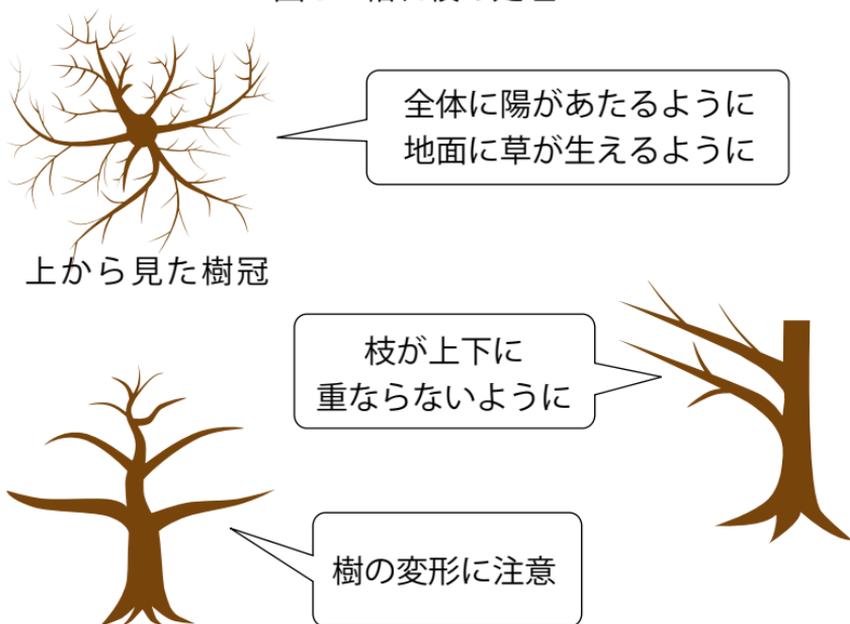


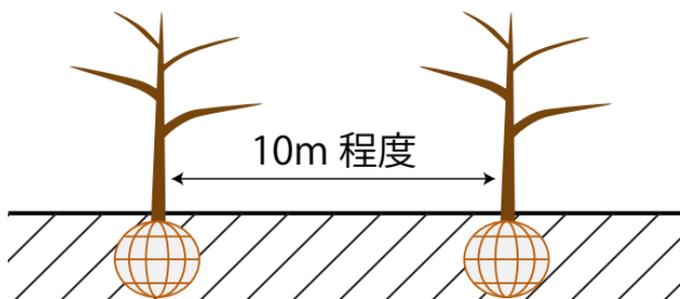
図5 枯れ枝の処理



2 桜の植栽要領

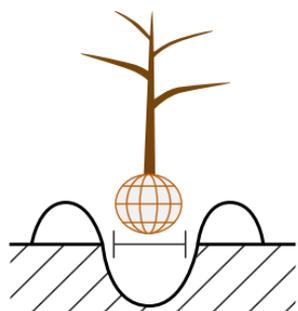
(1) 植樹間隔

植樹間隔は10メートル程度あける。
将来、大きくなることを視野に入れる。



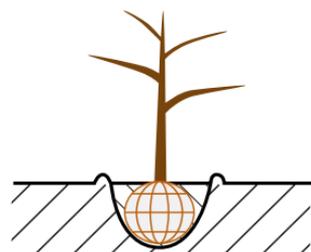
(2) 穴の大きさ

幅は苗玉より少し大きめに、また、高さは苗玉が地表すれすれになるように掘る。掘り上げた土は散らかさない。



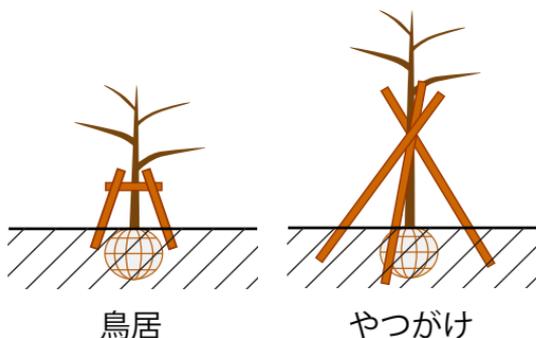
(3) 埋め方

苗玉の包を解かず、そのまま入れる。苗玉は深く埋めない。土にバーク堆肥を二つかみ程度混ぜても良い。



(4) 支柱の立て方

木が揺れて根が傷まないよう支柱をしっかりと立てる。
土手の上など、風の強い場所は「鳥居」や「やつがけ」
で補強する。

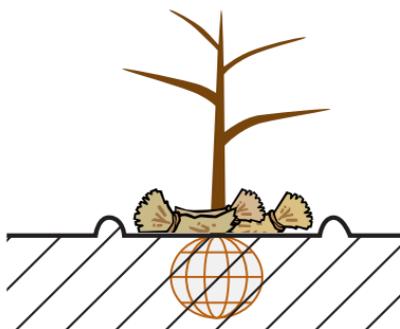


(5) 水のやり方

水が流れないように、苗木周辺に土手を造り、たっぷり
与える。

(6) 根の保護

根の凍結を防ぐため、根のある位置へ稲わら等を敷く。

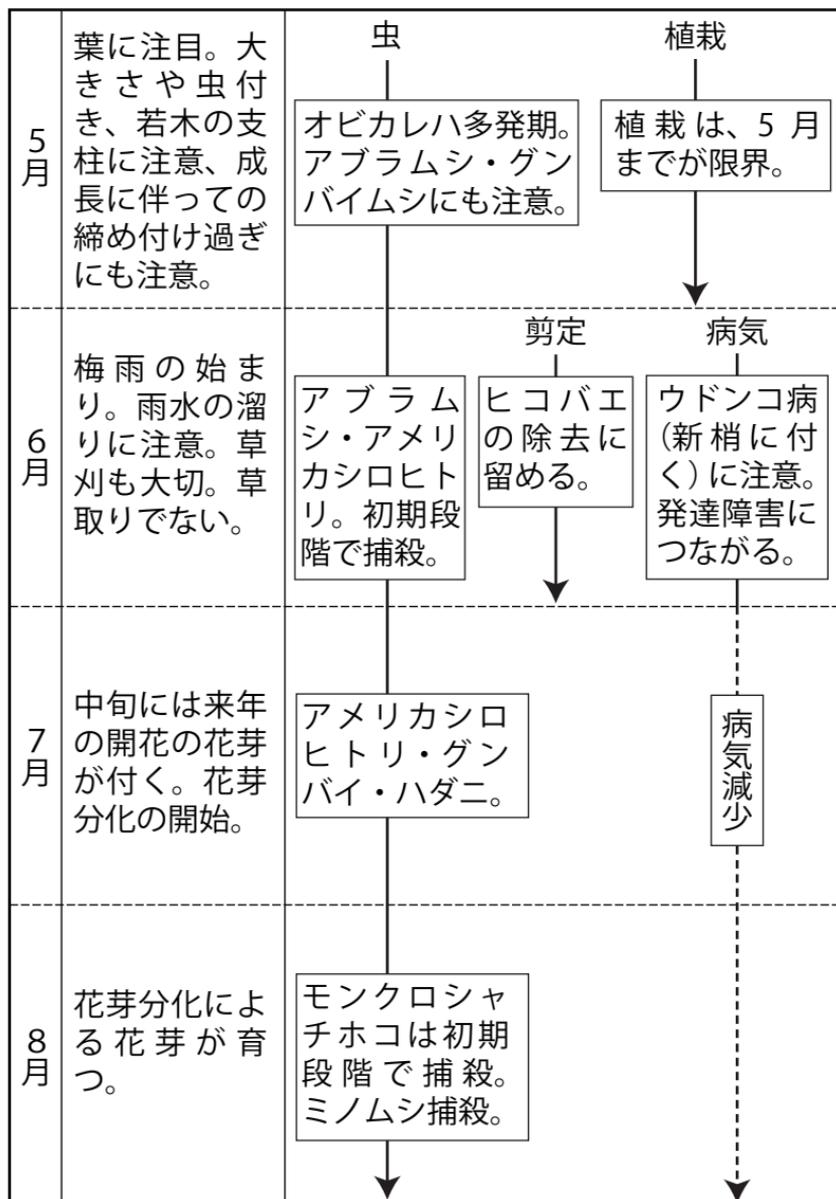


3 年間月別管理作業の概要

1月～4月

<p>1月</p>	<p>根は地温を感じ伸長を始める。</p>	<p>防寒</p> <p>雪の少ない年は稲わら等で根を保護する。特に若木。</p>	<p>剪定</p> <p>樹形を整える程度。</p>
<p>2月</p>	<p>花芽・葉芽が少しずつ大きくなり始める根もいよいよ伸長が進む。</p>	<p>施肥</p> <p>若木に寒肥を施す場合あり。堆肥は、2 kg / m²位。樹冠の枝先を中心に。</p>	
<p>3月</p>	<p>いよいよ開花の始まり月末にはコヒガン・エドヒガン・ソメイヨシノの順に咲き始める。</p>	<p>虫</p> <p>早期発見が重要。コスカシバ（幹にヤニが出る）・オビカレハ（蜘蛛の巣状の中に）いづれも捕殺。</p>	<p>病気</p> <p>テングス病の除去</p> <p>花見前の準備として、枯れ枝や低すぎる枝の除去。</p>
<p>4月</p>	<p>お花見の頃。落花の次は虫・病気の発生に注意。</p>	<p>ハマキムシ捕殺。</p>	<p>植栽</p> <p>施肥</p> <p>いわゆるお礼肥を施す 多少窒素分の多めの物を2月と同様のように</p>

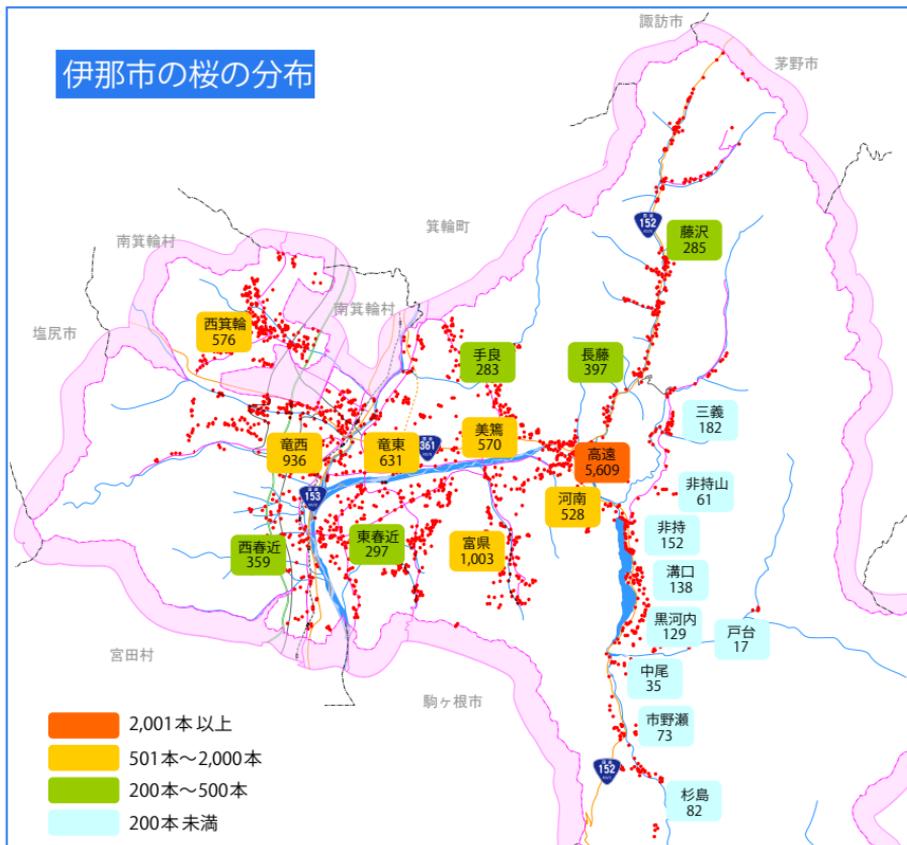
5月～8月



9月～12月

		虫	剪定	病気
9月	花芽が丸みを帯びてくる。葉芽は少し先が細い。見た目で解るようになる。	モンクロシャチホコの最盛期。アメリカシロヒトリ第2期。	葉のあるうちに枯れ枝の除去。	テングス病の除去。
10月	早い個体は落葉が始まる。台風等対策が必要。	ミノムシを捕殺。		病気減少
11月	ほとんどが葉を落とし冬の準備。	ミノムシを捕殺。全部取る。	剪定 整枝を中心に障害になる下枝の除去。徒長枝の整理。	テングス病の除去。(発見しやすい)
12月	桜は休眠に入る。	卵での越冬に注意。虫捕殺。卵全部取る。	切り方注意	植栽 凍りつきに注意。稲わら等で根を保護。

伊那市の桜の分布



「日本一の桜の里づくり計画」を策定す上で必要となる市内の桜の状況を把握するために、桜の分布調査を行いました。

調査の結果、高遠（西高遠、東高遠）を中心に、国道 361 号周辺の地域に桜が多いことが分かりました。

ほかにも、学校や保育園、公園やグラウンドなど、公共施設にも数多くの桜があり、約 2,200 箇所、1 万 2 千本を超える桜が確認されています。

行政、住民、桜守が協力しながら、伊那市の「日本一の桜の里づくり」を進めます。

お問い合わせ先

伊那市役所 建設部 建設課

建設調査係 電話 0265-78-4111

内線 2531・2532